

第 58 回日本腎臓学会学術総会のお知らせ (第 4 回)

会 期：2015 年 6 月 5 日(金), 6 日(土), 7 日(日)
会 場：名古屋国際会議場
総 会 長：松尾 清一(名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科)
副 会 長：湯澤由紀夫(藤田保健衛生大学医学部腎内科)
 上村 治(あいち小児保健医療総合センター腎臓科)
テ – マ：腎臓学の未来

学会主導型(企画・運営・プログラム)の学術総会として開催いたします。
※演題名は一部仮題のところもございます。最新情報は後日ホームページに
掲載いたします。

プログラム概要

1. 会長講演

日本の腎臓学の未来

司会：東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座 腎・高血圧内分泌学分野 伊藤 貞 嘉
演者：名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科 松尾 清 一

2. 招請講演

1) The present and future of kidney clinical research at NIH/NIDDK

司会：中山寺いまいクリニック 今井 圓 裕

演者：Division of Kidney, Urologic and Hematologic diseases NIDDK, National Institutes of Health Robert Star

2) Kidney, Hypertension and Uric acid

司会：藤田保健衛生大学医学部腎内科 湯澤由紀夫

演者：Division of Renal Diseases and Hypertension, University of Colorado Richard J Johnson

3) Born to be uremic? — The Impact of Hypoxia on Nephron Formation

司会：東北大学附属創生応用医学研究センター 宮田 敏 男

演者：Department of Nephrology and Hypertension The University of Erlangen-Nuremberg Kai-Uwe Eckardt

3. 特別講演

司会：岡山大学病院 槇野 博 史

司会：名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科 松尾 清 一

演者：政策研究大学院大学 黒川 清

4. 総会長主導企画

1) IgA 腎症の診断と治療の UP TO DATE

司会：順天堂大学 富野康日己

司会：宮崎大学医学部医学科血液・血管先端医療学講座 藤元 昭 一

1. IgA 腎症の責任遺伝子探索—候補遺伝子解析から疾患感受性は予測可能か—

新潟大学歯学部腎・膠原病内科(第二内科) 成田 一 衛

2. Oxford 分類改訂の方向性とポイント
藤田保健衛生大学医学部腎内科 湯澤由紀夫
3. 半月体形成は組織予後予測に有用か？ Oxford 分類改訂にむけて
国立病院機構福岡東医療センター 片 渕 律 子
4. 新規バイオマーカーを用い IgA 腎症の早期診断・活動性評価はどこまで可能か？
順天堂大学大学院医学研究科腎臓内科学 鈴 木 祐 介
5. 扁摘・ステロイドパルス療法の有効性に関するランダム化比較試験からみえること
東京慈恵会医科大学臨床研修センター腎臓・高血圧内科 川 村 哲 也
6. IgA 腎症の治療法と予後との関連に関する後方視的な多施設大規模研究からみえること
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 安 田 隆
- 2) 腎再生医療・細胞治療の未来
- 司会：名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学 丸 山 彰 一
司会：慶應義塾大学医学部血液浄化・透析センター 林 松 彦
1. 腎臓病に対する間葉系幹細胞治療の現状と未来
名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学 丸 山 彰 一
2. 腎臓再生の現状と未来
東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科 横 尾 隆
3. iPS 細胞の現状と未来
京都大学 iPS 細胞研究所増殖分化機構研究部門 長 船 健 二
4. Muse 細胞を用いた心筋再生による急性心筋梗塞の治療
岐阜大学医学部循環器内科 湊 口 信 也
5. 重症心不全に対する心筋再生医療の現状と展望
大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科学 澤 芳 樹
- 3) 小児腎臓病領域における進歩と移行～腎臓小児科医と腎臓内科医の協働～
- 司会：あいち小児保健医療総合センター 上 村 治
司会：近畿大学医学部小児科 竹 村 司
1. 小児期発症慢性疾患患者の移行期支援とは
関西医科大学小児科学講座 石 崎 優 子
2. 小児期発症慢性腎疾患患者の移行に関する実態調査報告(小児科の立場から)
東京女子医科大学腎臓小児科 服 部 元 史
3. 小児期発症慢性腎疾患患者の移行に関する実態調査報告(内科の立場から)
福井大学腎臓病態内科学 岩 野 正 之
4. DOHaD 学説と小児期からの腎臓病～慢性腎不全の早期発見・予防における
周産期歴を知ることの重要性
大阪府立母子保健総合医療センター 里 村 憲 一
5. DOHaD 学説に基づくライフコースの視点に立った先制医療
東京医科歯科大学難治疾患研究所 佐 田 文 宏
6. 小児腎疾患の移行支援と課題
東京都立小児総合医療センター腎臓内科 本 田 雅 敬

5. 学会主導企画

1) 特別企画 1(学会主導企画)

尿検査の標準化(3年間継続)3回目「これからの尿検査」

司会：新潟県立吉田病院小児科 原 正 則

司会：福井大学医学部腎臓病態内科学 岩 野 正 之

1. 尿中バイオマーカーのパネル化について

新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設施設構造病理学分野 山 本 格

2. 尿中 AKI バイオマーカー

京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター・TMK プロジェクト 森 潔

3. 尿中 CKD バイオマーカー

～心腎連関・糖尿病性腎症の疾病管理における活用例～

聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科 菅 谷 健

4. 新規尿中バイオマーカー

福井大学医学部腎臓病態内科学 糟 野 健 司

5. 尿中エクソソーム・マイクロベシクル

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部病態情報医学講座腎臓内科学分野 安 部 秀 斉

6. メタボローム解析技術を用いた CKD の尿中バイオマーカー探索

慶應義塾大学先端生命科学研究所 平 山 明 由

7. 糸球体疾患における尿中 RNA・マイクロ RNA

宮崎大学医学部附属病院血液浄化療法部 福 田 顕 弘

2) 特別企画 2

よくわかるシリーズ 1：身体所見の見方

司会：腎臓・代謝病治療機構 中 尾 俊 之

演者：大船中央病院内科 須 藤 博

よくわかるシリーズ 2：尿所見でわかる腎臓病

司会：大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 堀 尾 勝

演者：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 今 井 直 彦

よくわかるシリーズ 3：Critical Care Nephrology AKI と輸液・利尿薬

司会：鳥根大学医学部附属病院腎臓内科 伊 藤 孝 史

演者：東京大学医学部附属病院 野 入 英 世

よくわかるシリーズ 4：CKD と高尿酸血症

司会：東京慈恵会医科大学慢性腎臓病病態治療講座 細 谷 龍 男

演者：東京慈恵会医科大学総合診療内科 大 野 岩 男

よくわかるシリーズ 5：低 Na 血症の治療

司会：東京医科歯科大学医歯学総合研究科腎臓内科学 内 田 信 一

演者：中部ろうさい病院 藤 田 芳 郎

よくわかるシリーズ 6：CKD-MDB 治療

司会：JCHO うつのみや病院 草 野 英 二

演者：名古屋第二赤十字病院 稲 熊 大 城

よくわかるシリーズ 7：小児ネフローゼ症候群の治療 リツキサン

司会：和歌山県立医科大学小児科 吉 川 徳 茂

演者：神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野 飯 島 一 誠

よくわかるシリーズ 8：TTP/HUS 診断と治療

司会：国立成育医療研究センター 五十嵐 隆
演者：徳島大学大学院小児医学分野 香美 祥二

よくわかるシリーズ 9：食事療法 Up to date

司会：日本医科大学腎臓内科 鶴岡 秀一
演者：新潟大学保健管理センター 鈴木 芳樹

よくわかるシリーズ 10：腎疾患と妊娠

司会：東京女子医科大学第四内科 内田 啓子
演者：昭和大学藤が丘病院腎臓内科 吉村吾志夫

よくわかるシリーズ 11：腎移植可能であるか判断に迷う腎移植希望 CKD 患者

司会：公益財団法人新潟県臓器移植財団 高橋 公太
演者：名古屋第二赤十字病院移植外科 後藤 憲彦

よくわかるシリーズ 12：腹膜透析の基本

司会：福岡赤十字病院 平方 秀樹
演者：名古屋大学大学院医学系研究科腎不全総合治療学寄附講座 水野 正司

よくわかるシリーズ 13：糖尿病性腎症のメカニズム

司会：兵庫医科大学内科学腎・透析科 中西 健
演者：岡山大学病院新医療研究開発センター 四方 賢一

よくわかるシリーズ 14：IgA 腎症治療 ガイドライン

司会：虎の門病院腎センター 乳原 善文
演者：帝京大学医学部内科学講座 藤垣 嘉秀

よくわかるシリーズ 15：間質性膀胱炎の基礎と臨床

司会：東京女子医科大学 望月 俊雄
演者：泌尿器科 上田クリニック 上田 朋宏

よくわかるシリーズ 16：免疫抑制剤の使用法 ループス腎炎

司会：群馬大学大学院生体統御内科 野島 美久
演者：聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center 岡田 正人

よくわかるシリーズ 17：ネフローゼ症候群の治療 ガイドライン

司会：山形大学医学部内科学第一（循環・呼吸・腎臓内科学）講座 今田 恒夫
演者：神戸大学大学院医学研究科腎臓内科 西 慎一

よくわかるシリーズ 18：心不全を叩くか？ 腎障害が先か？

大規模レジストリ研究から垣間見る Cardiorenal Syndrome

司会：大阪大学大学院医学系研究科腎疾患統合医療学寄附講座 椿原 美治
演者：慶應義塾大学内科第一三共心血管炎症学寄附講座 香坂 俊

よくわかるシリーズ 19：病態に応じた腎動脈狭窄症の治療選択

司会：熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学 向山 政志
演者：滋賀医科大学糖尿病・腎臓・神経内科 宇津 貴

よくわかるシリーズ 20：臨床に必要な統計学

司会：東北大学大学院薬学研究科臨床薬学分野 佐藤 博
演者：聖路加国際病院一般内科 高橋 理

よくわかるシリーズ 21：ADPKD に対する治療の breakthrough

司会：杏林大学泌尿器科 奴田原紀久雄
演者：帝京大学医学部泌尿器科 武藤 智

よくわかるシリーズ 22 : ANCA 関連血管炎の治療

司会：昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門科 柴田 孝 則

演者：杏林大学医学部第1内科（腎臓・リウマチ膠原病内科） 要 伸 也

3) 委員会企画 1 腎臓病総合レジストリー＋腎病理診断標準化委員会プログラム

司会：金沢医科大学医学部腎臓内科学 横山 仁

司会：筑波大学大学院腎血管病理学講座 長田 道 夫

1. 腎臓病総合レジストリー (J-RBR/J-KDR) の 2014 年次報告と経過報告

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科慢性腎臓病対策腎不全治療学 杉山 齊

2. J-RBR を利用した、わが国の膠原病関連腎症の腎生検における臨床像、組織所見の検討

山形大学医学部循環・呼吸・腎臓内科学分野 今田 恒 夫

3. 二次研究の進展：高齢者ネフローゼ症候群および薬剤性腎障害

金沢医科大学医学部腎臓内科学 横山 仁

4. 病理 Topics と希少疾患登録の報告

～とくに Fabry 病の病理所見スコア化について

東北大学大学院薬学研究科臨床薬学分野 佐藤 博

5. 難病指定としての IgA 腎症の臨床診断

藤田保健衛生大学医学部腎内科 湯澤由紀夫

6. IgA 腎症の病理学的鑑別診断と組織学的重症度分類の実際

東北大学大学院・医科学専攻・病理病態学講座 城 謙 輔

7. 次世代レジストリーにおけるバーチャル顕微鏡の役割と問題点

獨協医科大学越谷病院病理部 上田 善 彦

4) 委員会企画 2 男女共同参画委員会企画プログラム

腎臓学会の男女共同参画の未来～子育て支援からキャリア支援へ～

司会：名古屋第二赤十字病院腎臓内科 武田 朝 美

司会：藤田保健衛生大学腎内科 長谷川みどり

演者：日本腎臓学会理事長，名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科 松尾 清 一

演者：並木病院/藤田保健衛生大学名誉教授 山本 纈 子

5) 委員会企画 3 腎病理生涯教育コース (CME)

司会：筑波大学大学院腎血管病理学講座 長田 道 夫

司会：名古屋第二赤十字病院腎臓内科 武田 朝 美

1. 尿細管障害の病理総論

県立西宮病院病理科 岡 一 雅

2. 症例提示 1：特発性副甲状腺機能低下症の治療経過中に腎機能障害を呈した 1 例

名古屋第二赤十字病院腎臓病総合医療センター 大塚 康 洋

3. 症例提示 2：MGUS に伴った Fanconi 症候群例

虎の門病院腎臓内科 上野 智 敏

4. 病理解説：尿細管上皮細胞障害の病理

日本医科大学 清水 章

5. 尿細管障害の病態生理解析—形態と機能の相関

東京大学腎内分泌代謝内科 藤 乘 嗣 泰

6. 急性腎障害における尿細管上皮細胞障害とバイオマーカー

東京大学血液浄化部 土井 研 人

6) 委員会企画 4 腎生検病理診断コンサルテーション・アンド・レビュー

司会：名古屋第二赤十字病院腎臓内科 武田朝美

司会：日本医科大学附属病院病理診断科 大橋隆治

1. 脂質異常と腎病変

東北大学大学院医科学専攻病理病態学講座病理診断学分野 城謙輔

2-1. 症例提示：広範な糸球体虚脱を認めたネフローゼ症候群の一例

札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 井垣勇祐

病理コメントータ：

独立行政法人労働者健康福祉機構関東労災病院病理診断科 外岡暁子

2-2. 症例提示：血清学的に Monoclonality を認めないにも関わらず

腎病理にて IgM/ κ 陽性を認めた MPGN type III の一例

独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院 内科 山口嘉土

病理コメントータ：

公立大学法人山形県立保健医療大学保健医療学部 前田邦彦

東北大学大学院医科学専攻病理病態学講座病理診断学分野 城謙輔

2-3. 症例提示：肉芽腫性間質性腎炎を呈した Erdheim-Chester 病の一例

東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 本田謙次郎

病理コメントータ：

市立札幌病院 病理診断科 柳内充

7) 委員会企画 5 腎臓専門医受験のための教育セミナー

司会：愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科 今井裕一

司会：東京大学大学院医学系研究科腎臓・内分泌内科 南学正臣

1. 水・電解質，酸塩基平衡

慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター 門川俊明

2. 原発性糸球体疾患・尿細管間質性疾患

東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科 南学正臣

3. 全身性疾患による腎障害

大阪大学大学院老年・腎臓内科学 猪阪善隆

4. 急性腎障害・慢性腎不全

聖路加国際病院腎臓内科 小松康宏

5. 腎臓指導医の在り方

愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科 今井裕一

6. シンポジウム

1) 腎臓領域の創薬の未来

司会：東京大学先端科学技術研究センター 藤田敏郎

司会：東北大学大学院医学系研究科腎高血圧内分泌学分野 森建文

1. アカデミアにおける創薬の未来—探索研究から医師主導治験まで—

東北大学大学院医学系研究科分子病態治療学分野 段孝

2. 企業における創薬の未来

中外製薬株式会社研究本部探索研究部 服部有宏

3. ミトコンドリア病の創薬

東北大学大学院医工学研究科/医学系研究所 阿部高明

4. 我が国における創薬の未来
東京大学大学院医学系研究科/疾患生命工学センター/分子病態医科学部門 宮崎 徹
5. 抗酸化・抗炎症薬と糖尿病腎症：RTA 402 の試み
昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 秋澤 忠男
- 2) 腎臓領域の基礎研究の現在と未来
司会：順天堂大学医学部解剖学・生体構造科学 坂井 建雄
司会：香川大学医学部薬理学 西山 成
1. ポドサイト研究の現在と未来
京都大学大学院医学研究科・メディカルイノベーションセンター・TMK プロジェクト 浅沼 克彦
2. 酸化ストレスと腎障害
川崎医科大学腎臓・高血圧内科学 佐藤 稔
3. ヒト Fcγ 受容体とインテグリン Mac-1 を介した免疫複合体型腎炎の発症メカニズム
名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学 坪井 直毅
4. 生活習慣病と腎臓病—糖尿病性腎症における Sirt1 遺伝子の機能解析—
慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科 長谷川一宏
5. 免疫・神経系が仲介する心—腎の連携機序
東京大学大学院医学系研究科循環器内科 真鍋 一郎
6. 若手基礎研究者の育成に向けて
香川大学医学部薬理学 西山 成
- 3) 腎代替療法の現状と未来
司会：東京女子医科大学第四内科 新田 孝作
司会：九州大学大学院包括的腎不全治療学 鶴屋 和彦
1. 行政から見た腎代替療法の展望
厚生労働省健康局疾病対策課 前田 彰久
2. 血液透析の新たな半世紀への出発
東北大学病院血液浄化療法部 宮崎真理子
3. 我が国の腹膜透析療法の現状と未来
名古屋大学大学院医学系研究科腎不全総合治療学寄附講座 伊藤 恭彦
4. 我が国の腎移植の現状と未来
新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野 中川 由紀
5. 世界の腎代替え療法の現状と未来
Prince of Wales Hospital, Chinese University of Hong Kong, Hong Kong Phillip Li

7. ワークショップ

- 1) 専門医制度の現状と展望
司会：愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科 今井 裕一
司会：東海大学腎内分泌代謝内科 深川 雅史
1. 専門医制度の国際比較と我が国の展望
一般社団法人日本専門医機構 池田 康夫
2. 日本の内科系専門医制度の現状と将来像
福島県立医科大学腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科 渡辺 毅
3. 小児腎臓病学会における専門医制度アウトライン
高知大学医学部小児思春期医学 藤枝 幹也

4. 泌尿器科学会における専門医制度のアウトライン
慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室 大家基嗣
5. 日本腎臓学会専門医制度のアウトライン
慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター 門川俊明
- 2) ガイドラインとクリニカル・エビデンス
- 司会：独立行政法人地域医療機能推進機構東京高輪病院 木村健二郎
司会：新潟大学医歯学系腎・膠原病内科（第二内科） 成田一衛
1. 診療ガイドライン作成の実際
埼玉医科大学腎臓内科 岡田浩一
2. IgA 腎症ガイドラインにおける課題
大阪大学大学院医学系研究科老年・腎臓内科学 山本陵平
3. エビデンス・プラクティス・ギャップを縮めるために
—医療の質改善は EBM を現場に応用する実践科学である
聖路加国際病院腎臓内科 小松康宏
4. エビデンス構築における観察研究の役割
ジョンス・ホプキンス大学疫学講座 松下邦洋
5. 介入研究によるエビデンスの創出
京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター EBM 推進部 笠原正登
- 3) AKI の未来
- 司会：高知大学医学部内分泌代謝・腎臓内科学講座 寺田典生
司会：東京大学医学部救急部・集中治療部 土井研人
1. 5 学会合同 AKI 診療ガイドラインの作成
東京大学医学部救急部・集中治療部 土井研人
2. AKI 診療の未来(集中治療医学会より)
藤田保健衛生大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 西田修
3. 腎臓内科医が携わる AKI 診療のあり方
聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科 柴垣有吾
4. AKI 診療の未来(急性血液浄化学会より)
東京女子医科大学八千代医療センター救急科・集中治療部 貞広智仁
5. AKI 診療における血液浄化療法の適応とその管理(透析医学会より)
和歌山県立医科大学腎臓内科学講座 重松隆
6. 小児の AKI の診療と腎代替療法
国立成育医療研究センター腎臓リウマチ膠原病科 亀井宏一
- 4) 疾患レジストリーの現状と未来
- 司会：琉球大学医学部附属病院血液浄化療法部 井関邦敏
司会：金沢大学医薬保健研究域医学系血液情報統御学 和田隆志
1. 医療政策：「マイナンバーと医療ビッグデータが変える未来の個別化医療」を視野に入れた検討
厚生労働省保険局医療介護連携政策課保険システム高度化推進室 赤羽根直樹
2. レジストリーからの医療政策提言：腎臓学会の取り組み
金沢医科大学医学部腎臓内科学 横山仁
3. 東北メディカル・メガバンク機構：被災地からともに始めるゲノムコホート
東北大学東北メディカル・メガバンク機構地域医療支援部門統合遠隔腎臓学 清元秀泰
4. レジストリーからの医療政策提言：外科学会のとりのくみ
東京大学医学部附属病院小児外科 岩中督

5. The promise of CKD cohort studies

Department of Nephrology and Hypertension University of Erlangen-Nuremberg Kai-Uwe Eckardt

5) 超高齢社会とCKD

司会：筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学 山縣邦弘
司会：川崎医科大学腎臓・高血圧内科 柏原直樹

1. Overview

川崎医科大学腎臓・高血圧内科 柏原直樹

2. 超高齢者の病態生理

東京都健康長寿医療センター脳卒中科 金丸和富

3. 腎臓と加齢：リンの役割

自治医科大学分子病態治療研究センター抗加齢医学研究部 黒尾 誠

4. 高齢者CKD診療の注意点(主にステージG3, 4)

埼玉医科大学腎臓内科 岡田浩一

5. ステージ5 高齢者CKDの診療のあり方(透析非導入を含め)

福島県立医科大学腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座 中山昌明

6. Management of CKD in the elderly :

what are the objectives of renal replacement or conservative care ?

Nephrology and Dialysis Medicine University Hospital of North Staffordshire Simon Davies

6) 基礎研究への招待

司会：北里大学医学部生理学 河原克雅

司会：新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設分子病態学分野 河内 裕

1. 慢性腎臓病におけるオートファジーと慢性炎症の接点

大阪大学大学院老年・腎臓内科学 猪阪善隆

2. AKI からCKD への移行の分子基盤の解明

京都大学医学研究科腎臓内科学 柳田素子

3. 世界と繋がる基礎研究の魅力

東京大学・院医・CKD病態生理学講座 稲城玲子

4. 遺伝性腎疾患が明らかにした水電解質調節機構

東京医科歯科大学医学部附属病院 腎臓内科 蘇原映誠

5. 糖尿病性腎症の新規治療標的の解明を目指して

滋賀医科大学内科学講座糖尿病・腎臓・神経内科 久米真司

6. 腎発生から虚血, 糖尿病, 高血圧などに関連するAKIやCKDにおける

ミッドカインの病態生理学的役割の多様性

藤田保健衛生大学医学部腎内科学 佐藤和一

8. 教育講演

1) Management of PKD

司会：順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学 堀江重郎
演者：Vincent Torres

2) わが国におけるTR戦略—イノベーション創出基盤としてのAcademic Research Organization

司会：岡山大学病院新医療研究開発センター 四方賢一
演者：公益財団法人先端医療振興財団臨床研究情報センター 福島雅則

3) ANCA 血管炎の国際試験

司会：公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院腎・泌尿器センター腎臓内科 武曾 恵理
演者：杏林大学第一内科学教室：腎臓・リウマチ膠原病内科 有村 義宏

9. 英語セッション

1) アジア国際交流

2) JSN/KDIGO “AKI” Guideline Implementation Conference Session

司会：大阪大学保健センター 守山 敏樹

司会：横浜市立大学医学部循環器・腎臓内科学 田村 功一

1. Opening remarks

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科 柏原 直樹

2. KDIGO Guideline Recommendations on the Management of AKI

University of Pittsburgh School of Medicine John Kellum

3. JSN Guideline Recommendations on the Management of AKI

高知大学医学部内分泌代謝・腎臓内科学講座 寺田 典生

4. Case 1 : Presentation and Discussion

University of Pittsburgh School of Medicine John Kellum

5. Case 2 : Presentation and Discussion

東京大学医学部救急部・集中治療部 土井 研人

6. Conclusion remarks

板橋中央総合病院 塚本 雄介

3) JSN-ERA/EDTA joint symposium

司会：京都大学医学研究科腎臓内科学 柳田 素子

司会：The University of Picardie Jules Verne, Amiens University Hospital Ziad A. Massy

演者：名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科 松尾 清一

演者：東京大学大学院医学系研究科腎臓・内分泌内科 南学 正臣

演者：Department of Nephrology, Endocrinology and Metabolic Diseases, Medical University of Silesia Andrzej Wiecek

演者：Department of Renal Medicine K56, Karolinska University Hospital at Huddinge, Karolinska Institutet Peter Stenvinkel

10. ASN/JSN Joint Science Symposium

司会：東北大学大学院医学系研究科 伊藤 貞嘉

司会：東京大学大学院医学系研究科腎臓・内分泌内科 南学 正臣

演者：Center for Translational Metabolism and Health Institute for Public Health

and Medicine Department of Medicine Feinberg School of Medicine, Northwestern University Myles Wolf

演者：自治医科大学分子病態治療研究センター抗加齢医学研究部 黒尾 誠

演者：Columbia university medical center Fangming Lin

演者：熊本大学発生医学研究所腎臓発生分野 西中村 隆一

11. 教育セミナー

司会：豊川メイッククリニック 三木 祐介

コメンテーター：名古屋大学大学院医学系研究科腎不全システム治療学寄附講座・腎臓内科 伊藤 恭彦

コメンテーター：中部ろうさい病院リウマチ膠原病（腎・感染症）科 藤田 芳郎

1) 電解質道場 part 1

1. Na 異常

慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター 門川 俊明

2. K 異常

聖路加国際病院腎臓内科 長浜 正彦

3. Ca 異常

藤田保健衛生大学医学部 林 宏樹

4. まとめ

2) 電解質道場 part 2

1. 代謝性アルカローシス

聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科 柴垣 有吾

2. 代謝性アシドーシス

中部ろうさい病院 志水 英明

3. 総合問題(電解質 イメージ・クイズ)

4. まとめ

12. 大島賞受賞講演

日時：平成 27 年 6 月 5 日（金）14 時 45 分～15 時 45 分 予定

会場：第 1 会場（名古屋国際会議場 センチュリーホール）

司会：名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科 松尾 清一

1. 腎臓におけるミネラルコルチコイド受容体制御機構の解明

帝京大学内科学講座 柴田 茂

2. CKD 全ステージにおける CKD-MBD—基礎研究と臨床研究の融合

大阪大学医学系研究科腎疾患総合医療学 濱野 高行

13. 若手参加プログラム：Meet The Professor

日時：平成 27 年 6 月 6 日（土）8 時 00 分～8 時 50 分

会場：名古屋国際会議場内 会議室

セッション内容：海外から招請された教授にプレゼンテーションし、参加者で討論。

（軽食付き、事前登録制予定）

14. 一般演題

一般演題は、口演あるいはポスター発表といたします。

1. 発表方法

1) 口演：発表 8 分，討論 4 分，計 12 分，PC 用プロジェクター 1 台による発表

2) ポスター：発表 4 分，討論 2 分，計 6 分

2. PC 発表データ作成について(口演)

持込可能なメディアは USB メモリのみです。なお、Windows, Macintosh ともにノートパソコンの持ち込みも可能です。動画を含む場合、Macintosh をご使用の場合はノートパソコンをお持ち込みください。

【USB メモリでのデータ持ち込みの場合】

・口演会場の PC の仕様は以下を予定しております。

OS：Windows 7

アプリケーション：Windows 版 PowerPoint 2007/2010/2013

解像度：XGA（1024×768）

- ・事前にウイルスに感染していないことを確認のうえ、お持ち込みください。
- ・文字化けやレイアウトの崩れを防ぐために OS に設定されている標準フォントを使用してください。
- ・データの総量制限は特に設けません。決められた発表時間内に発表が終了するようにデータを作成してください。
- ・舞台上のマウスと操作キーを操作してプレゼンテーションを行なってください。
- ・会場内の PC データは、学会終了後、事務局で責任をもって完全消去いたします。

【ノートパソコン（Windows, Macintosh）持ち込みの場合】

- ・ノートパソコンの OS は以下を推奨いたします。

Windows：Windows XP 以降

Macintosh：OSX10.1.2 以降

解像度：XGA（1024×768）

- ・外部出力が可能であることを必ず、事前にご確認ください。
- ・会場に用意するケーブルコネクタの形状は D-sub15 ピン 3 列コネクタ（図の通り、通常のモニター端子）です。この形状に変換するコネクタを必要とする場合は、必ずご持参ください。また、AC アダプターは必ずご用意ください。
- ・バックアップ用データとして USB フラッシュメモリを必ずご持参ください。



D-sub15 ピンコネクタ

3. 利益相反状況の開示について

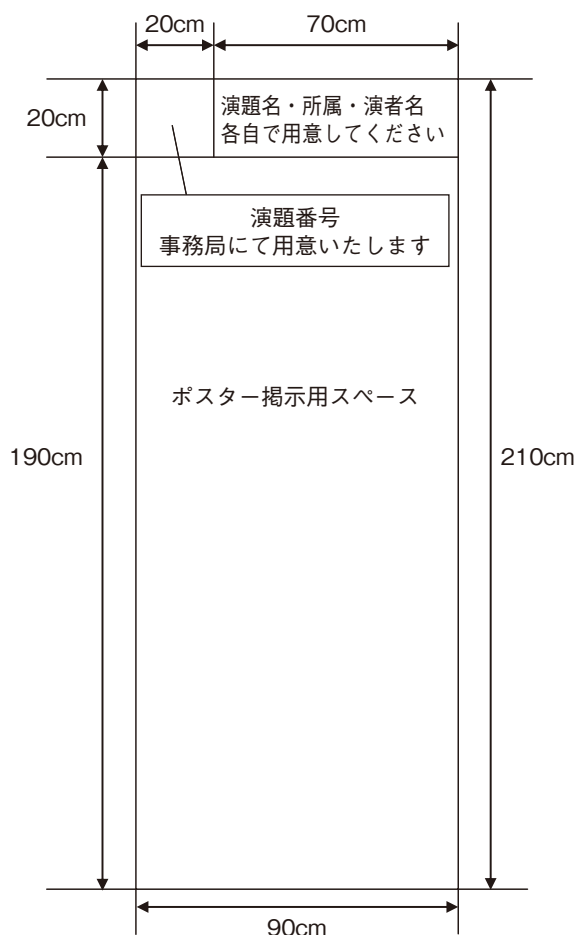
発表の際に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。詳細は医学研究の利益相反（COI）に関する共通指針の細則、開示方法をご参照ください。

URL：http://www.jsn.or.jp/about/regulations/saisoku_2578.php

※司会者にも利益相反状況の開示をお願いいたします。該当の先生には後日事務局より詳細をご連絡いたします。

4. ポスターパネルについて

- ・展示パネルの大きさは縦 210 cm×幅 90 cm です。
- ・演題番号（20 cm×20 cm）と画鋲は事務局で用意します。
- ・本文は縦 190 cm×幅 90 cm に収まるようにしてください。
- ・本文とは別に縦 20 cm×幅 70 cm に収まるように演題名・演者名・所属を記入したタイトルをご用意ください。



15. 優秀演題賞・会長賞

一般演題抄録の採点の結果、優秀な演題を選定し優秀演題賞を、その中から更に会長賞を選定致します。会長賞は学術総会の会員懇親会（平成27年6月6日）において表彰を予定しています。選定された演者の方には事前にご連絡をいたします。

16. 学術総会参加費

医師：15,000円（会員・非会員）

コメディカル：8,000円（身分を証明する書類、所属長の証明書などを持参）

大学院生・初期研修医・学部学生：無料（身分を証明する書類・学生証などを持参）

17. 総会

日時：平成27年6月5日（金）13時45分～14時45分

会場：第1会場（名古屋国際会議場 センチュリーホール）

18. 会員懇親会

日時：平成27年6月6日（土）19:00（開場18:30）予定

会場：名古屋国際会議場 レセプションホール

会費：1,000円

※優秀演題賞の表彰を行います

19. 腎臓専門医単位取得について

本学術総会に参加することにより、日本腎臓学会腎臓専門医資格更新のための単位が取得できます。（学術総会出席10単位、教育講演などへの出席5単位、合計15単位）腎臓専門医取得前の方は、単位登録の必要はありません。

20. ランチョンセミナー入場整理券について

整理券はございませんので直接会場へお願いいたします。

モーニングセミナー・イブニングセミナーも同様です。

21. 託児所

学術総会開催期間中に名古屋国際会議場にて託児室を設けます。

詳細は後日、学術総会ホームページ（<http://jsn58.umin.jp/>）に掲載いたします。

22. 旅行会社の宿泊案内

本誌に掲載の宿泊のご案内を参照の上、お早めにご予約ください。

23. サテライトシンポジウム

下記のとおり開催を予定しております。

【西部】

開催日：平成27年7月11日（土）

会場：くにびきメッセ（〒690-0826 島根県松江市学園南1丁目2番1号）

事務局：伊藤 孝史（島根大学医学部附属病院腎臓内科）

【東部】

開催日：平成27年7月19日（日）

会 場：山形国際ホテル（〒990-0039 山形県山形市香澄町3-4-5）
事務局：今田 恒夫（山形大学医学部内科学第一（循環・呼吸・腎臓内科学）講座）

24. 市民公開講座

下記のとおり開催を予定しております。
開催日：平成27年6月7日（日）（学術総会3日目）
会 場：名古屋国際会議場 センチュリーホール（第1会場）

25. その他

学術総会に関する情報は事務局ホームページにも随時掲載する予定ですので、ご参照をお願いいたします。
事務局ホームページ：<http://www.jsn.or.jp/>

26. 学術総会に関する問い合わせ

連絡先 丸山 彰一（名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科）
一般社団法人 日本腎臓学会内
第58回日本腎臓学会学術総会 運営事務局
TEL：03-5842-4131 FAX：03-5802-5570 E-mail：jsn58@umin.ac.jp

腎臓専門医受験のためのセミナーのお知らせ

第58回日本腎臓学会学術総会において、腎臓専門医受験を考慮している方のためのセミナーを開催いたしますのでご案内申し上げます。

対象者：腎臓専門医受験を考慮している会員の方、および
専門医をとられていて知識のアップデートを希望されている会員の方

日 時：平成27年6月7日（日）午後2時30分から4時30分まで
（第58回日本腎臓学会学術総会3日目）

会 場：名古屋国際会議場 4F 第11会場 1号館 会議室141+142

内 容：司会 今井 裕一（愛知医科大学）
南学 正臣（東京大学）

1. 水・電解質，酸塩基平衡（25分）..... 門川俊明（慶應義塾大学）
2. 原発性糸球体疾患・尿細管間質性疾患（25分）..... 南学正臣（東京大学）
3. 全身性疾患による腎障害（25分）..... 猪阪善隆（大阪大学）
4. 急性腎障害・慢性腎不全（25分）..... 小松康宏（聖路加国際病院）
5. 腎臓指導医の在り方（20分）..... 今井裕一（愛知医科大学）

定 員：先着250名（事前参加申込は不要です）

参加費：無 料

お問い合わせ：第58回日本腎臓学会学術総会事務局 03-5842-4131

第58回日本腎臓学会学術総会 宿泊（インターネット受付）のご案内

このたび2015年6月5日（金）～7日（日）の3日間、名古屋国際会議場におきまして第58回日本腎臓学会学術総会が開催されるにあたり、ご参加の皆様方の宿泊手配を(株)日本旅行ECP営業部にて担当させていただくこととなりました。

つきましては、会場までのアクセス利便性なども考慮したうえで名古屋市内のホテルご宿泊プランをご用意いたしましたのでお申込み方法などをご案内申し上げます。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

お申込み方法

今回は、**インターネット受付のみ**とさせていただきます。

第58回日本腎臓学会学術総会ホームページ (<http://jsn58.umin.jp/>) よりアクセス
もしくは
宿泊申し込みサイト (<https://v3.apollon.nta.co.jp/jsn58-jh/>) に直接アクセス

して内容や詳細をご確認のうえお申込みください。
先着順に受け付けます。お早目にお申し込みください。

- 1：予約操作は24時間いつでも可能です。
- 2：ご希望ホテルの空室状況、予約可否、予約結果が瞬時に確認できます。
- 3：予約は勿論、内容確認・変更・取り消し操作も24時間可能です。
- 4：お支払は、クレジットカード（オンライン決済も可能）・銀行振り込み・コンビニ決済をご利用いただけます。

宿泊プラン設定ホテル一覧と地図

次ページ以降をご確認ください。

*なお、客室タイプや宿泊料金につきましては宿泊申し込みサイトに記載いたします。

なお、交通手配につきましては、昨今の現状を踏まえ設定いたしておりません。

宿泊申し込み締め切り日

2015年5月15日（金）

お問い合わせ先

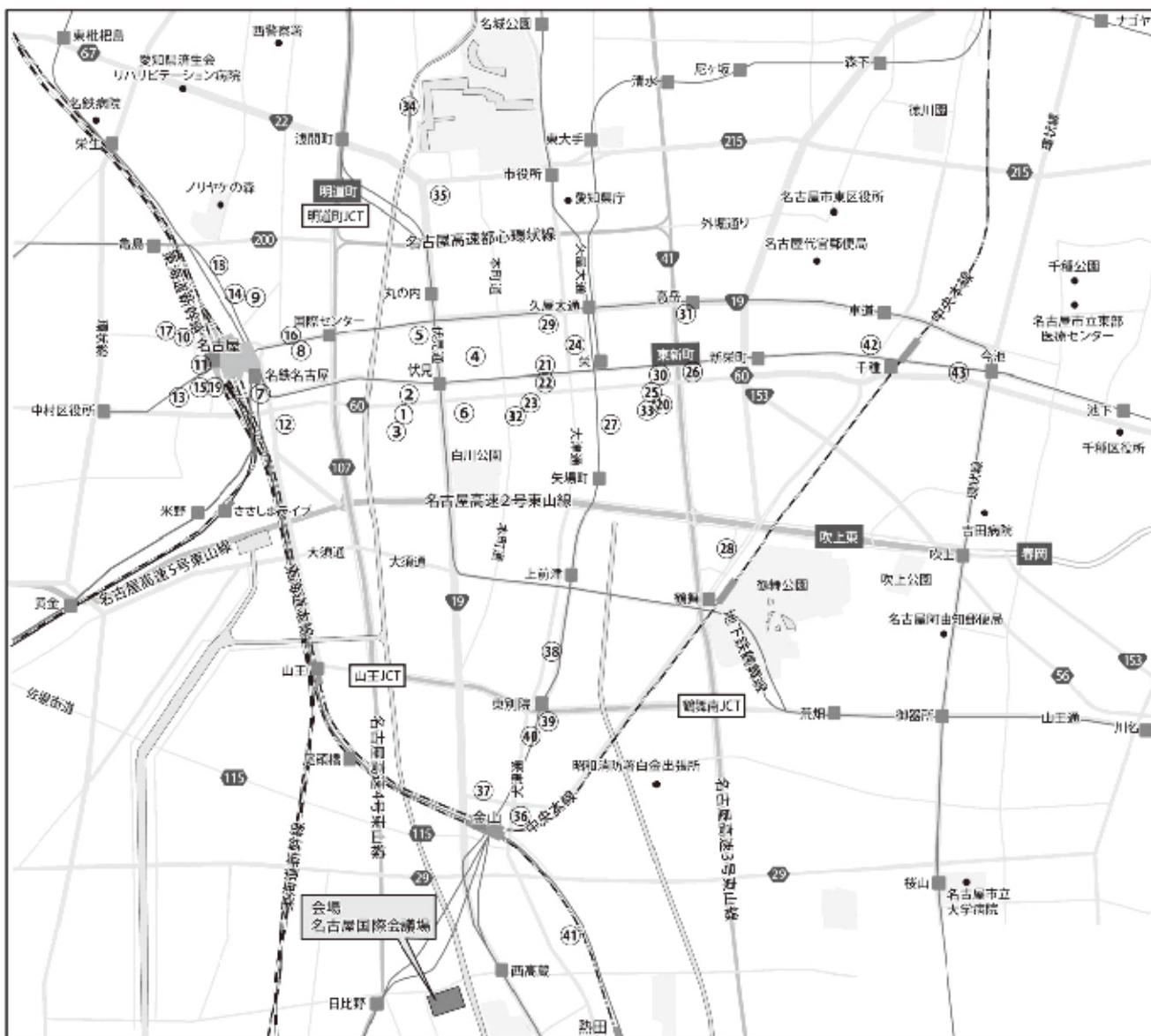
株式会社 日本旅行 ECP営業部 MCSセンター
〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-18-19 虎ノ門マリビル11階
TEL：03-5402-6412 FAX：03-3437-3944 E-mail:mcs_inq04@nta.co.jp
第58回日本腎臓学会学術総会デスク 担当：境田・張（ちゃん）

第58回日本腎臓学会学術総会 宿泊プラン設定ホテル一覧表

地区名	地図番号	ホテル名	最寄り駅	会場までの所要時間目安 (電車待ち時間は含まれておりません)	
名古屋伏見	1	ヒルトン名古屋	地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」7番出口徒歩3分	電車+徒歩 約25分	
	2	名古屋観光ホテル	地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」10番出口徒歩2分	電車+徒歩 約25分	
	3	名古屋クラウンホテル	地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」7番出口徒歩5分	電車+徒歩 約30分	
	4	ホテルラスティ名古屋	地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」1番出口徒歩4分		
	5	ホテルウイングインターナショナル名古屋	地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」10番出口徒歩4分	電車+徒歩 約30分	
	6	名古屋伏見モンブランホテル	地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」5番出口徒歩2分	電車+徒歩 約25分	
名古屋栄	7	名鉄グランドホテル	「名古屋駅」桜通口徒歩2分	電車+徒歩 約25分	
	8	キャッスルプラザ	「名古屋駅」桜通口徒歩5分	電車+徒歩 約30分	
	9	ザ サイプレス メルキュールホテル名古屋	「名古屋駅」桜通口徒歩4分	電車+徒歩 約30分	
	10	ダイワロイネットホテル新幹線口	「名古屋駅」太閤通口徒歩3分	電車+徒歩 約25分	
	11	名鉄ニューグランドホテル	「名古屋駅」太閤通口徒歩1分	電車+徒歩 約25分	
	12	ダイワロイネットホテル名古屋駅前	「名古屋駅」桜通口徒歩5分	電車+徒歩 約30分	
	13	ヴィアイン名古屋新幹線口	「名古屋駅」太閤通口徒歩4分	電車+徒歩 約30分	
	14	ホテルサンルートプラザ名古屋	「名古屋駅」桜通口徒歩5分	電車+徒歩 約30分	
	15	第一富士ホテル	「名古屋駅」太閤通口徒歩3分	電車+徒歩 約25分	
	16	ホテルリソル名古屋	「名古屋駅」桜通口徒歩4分	電車+徒歩 約30分	
	17	チサンイン名古屋	「名古屋駅」太閤通口徒歩4分	電車+徒歩 約30分	
	18	名鉄イン名古屋駅前	「名古屋駅」桜通口徒歩8分	電車+徒歩 約35分	
	19	名古屋フrawerホテル	「名古屋駅」太閤通口徒歩1分	電車+徒歩 約25分	
	名古屋栄	20	名古屋東急ホテル	地下鉄東山線・名城線「栄駅」12番出口徒歩5分	電車+徒歩 約20分
		21	東京第一ホテル錦	地下鉄東山線・名城線「栄駅」1番出口徒歩2分	電車+徒歩 約20分
		22	名古屋国際ホテル	地下鉄東山線・名城線「栄駅」8番出口徒歩2分	電車+徒歩 約20分
		23	名古屋栄東急イン	地下鉄東山線・名城線「栄駅」8番出口徒歩8分	電車+徒歩 約25分
		24	APA HOTEL<名古屋錦>	地下鉄東山線・名城線「栄駅」2番出口徒歩1分	電車+徒歩 約20分
		25	ベストウエスタンホテル名古屋	地下鉄東山線・名城線「栄駅」12番出口徒歩4分	電車+徒歩 約20分
26		ホテルマイステイズ名古屋栄	地下鉄東山線・名城線「栄駅」5番出口徒歩7分	電車+徒歩 約25分	
27		ホテルザ・ビー名古屋	地下鉄東山線・名城線「栄駅」13番出口徒歩3分	電車+徒歩 約20分	
28		ホテルルートイン名古屋栄	地下鉄東山線・名城線「栄駅」12番出口徒歩8分	電車+徒歩 約25分	
29		名鉄イン名古屋錦	地下鉄東山線・名城線「栄駅」1番出口徒歩6分	電車+徒歩 約20分	
30		ホテルユニゾン名古屋栄東	地下鉄東山線・名城線「栄駅」5番出口徒歩5分	電車+徒歩 約20分	
31		第二富士ホテル	地下鉄東山線・名城線「栄駅」4番出口徒歩10分	電車+徒歩 約30分	
32		名古屋栄ワシントンホテルプラザ	地下鉄東山線・名城線「栄駅」8番出口徒歩7分	電車+徒歩 約25分	
33		アパホテル名古屋栄	地下鉄東山線・名城線「栄駅」12番出口徒歩5分	電車+徒歩 約20分	
名古屋城周辺	34	ウェスティンナゴヤキャッスル	地下鉄鶴舞線「浅間町駅」1番出口徒歩10分	電車+徒歩 約40分	
	35	KKRホテル名古屋	地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内駅」1番出口徒歩8分	電車+徒歩 約30分	
名古屋金山	36	名古屋金山ワシントンホテル	JR・名鉄「金山駅」北口徒歩2分・地下鉄名城線「金山駅」3番出口すぐ	電車+徒歩 約15分	
	37	名鉄イン名古屋金山	JR・名鉄「金山駅」北口徒歩4分・地下鉄名城線「金山駅」6番出口徒歩2分	電車+徒歩 約15分	
	38	ホテルルートイン東別院	地下鉄名城線「上前津駅」5番・6番出口徒歩4分	電車+徒歩 約15分	
	39	ホテルキヨシ名古屋本館(第1)	地下鉄名城線「東別院駅」2番出口すぐ	電車+徒歩 約15分	
	40	ホテルキヨシ名古屋第2	地下鉄名城線「東別院駅」3番出口徒歩3分	電車+徒歩 約20分	
	41	熱田の杜 ホテル深翠苑	JR「熱田駅」徒歩2分	電車+徒歩 約25分	
名古屋千種周辺	42	メルパルク名古屋	JR・地下鉄東山線「千種駅」1番出口すぐ	電車+徒歩 約20分	
	43	ホテルルートイン名古屋今池駅前	地下鉄東山線・桜通線「今池駅」12番出口徒歩1分	電車+徒歩 約30分	

- 1：宿泊設定日 6月4日(木)～6月6日(土) 3泊
- 2：客室タイプや宿泊料金は宿泊申込サイトよりご確認ください。
- 3：会場までの所要時間(目安)には電車の待ち合わせ時間は含まれておりません。また時間帯により所要時間は若干変動いたします。多少ゆとりをみて移動をお願いいたします。

名古屋市内ホテルMap



- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ① ヒルトン名古屋 | ②③ 名古屋栄東急イン |
| ② 名古屋観光ホテル | ④ APA HOTEL<名古屋錦> |
| ③ 名古屋クラウンホテル | ⑤ ベストウエスタンホテル名古屋 |
| ④ ホテルトラスティ名古屋 | ⑥ ホテルマイステイズ名古屋栄 |
| ⑤ ホテルウイングインターナショナル名古屋 | ⑦ ホテル・ザ・ビー名古屋 |
| ⑥ 名古屋伏見モンブランホテル | ⑧ ホテルルートイン名古屋栄 |
| ⑦ 名鉄グランドホテル | ⑨ 名鉄イン名古屋錦 |
| ⑧ キャッスルプラザ | ⑩ ホテルユニゾイン名古屋栄東 |
| ⑨ ザサイプレスメルキュールホテル名古屋 | ⑪ 第二富士ホテル |
| ⑩ ダイワロイネットホテル新幹線口 | ⑫ 名古屋栄ワシントンホテルプラザ |
| ⑪ 名鉄ニューグランドホテル | ⑬ アパホテル名古屋栄 |
| ⑫ ダイワロイネットホテル名古屋駅前 | ⑭ ウェスティンナゴヤキャッスル |
| ⑬ ヴィアイン名古屋新幹線口 | ⑮ KKRホテル名古屋 |
| ⑭ ホテルサンルートプラザ名古屋 | ⑯ 名古屋金山ワシントンホテル |
| ⑮ 第一富士ホテル | ⑰ 名鉄イン名古屋金山 |
| ⑯ ホテルリソル名古屋 | ⑱ ホテルルートイン東別院 |
| ⑰ チサンイン名古屋 | ⑲ ホテルキヨシ名古屋本館(第1) |
| ⑱ 名鉄イン名古屋駅前 | ⑳ ホテルキヨシ名古屋第2 |
| ⑲ 名古屋フラワーホテル | ㉑ 熱田の杜 ホテル深翠苑 |
| ⑳ 名古屋東急ホテル | ㉒ メルパルク名古屋 |
| ㉑ 東京第一ホテル錦 | ㉓ ホテルルートイン名古屋今池駅前 |
| ㉒ 名古屋国際ホテル | |

第 45 回日本腎臓学会東部学術大会のお知らせ(第 1 回)

会 期：平成 27 年 10 月 2 日(金), 3 日(土)
会 場：東京ミッドタウン ホール&カンファレンス
大 会 長：林 松彦(慶應義塾大学医学部血液浄化・透析センター)
副大会長：大家基嗣(慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室)

テーマ：検証する腎臓学 迷信のない腎臓学

主要プログラム

I. 会長講演 予定

II. 招請講演 予定

III. シンポジウム

ここが聞きたい！腎泌尿器疾患境界領域のコンサルテーション
高齢 CKD 患者のマネジメント

IV. ワークショップ

腎臓における Developmental Origins of Health and Disease
腎臓学の卒前・卒後教育（腎臓を志す医師を増やす為に）

V. 教育講演・よくわかるシリーズ

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

VI. 腎病理ワークショップ

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

VII. 学生・研修医のための教育セミナー

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

VIII. 男女共同参画委員会企画

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

IX. 一般演題

従来通り症例報告・臨床研究の演題を広く募集いたします。

1. 発表形式

すべて口演またはポスターの発表を予定しております。

2. 申し込み要領

すべてインターネット登録をお願いします。

演題登録期間：平成 27 年 4 月 8 日（水）～5 月 7 日（木）

X. 一般演題以外のプログラムの抄録

一般演題以外の演題抄録も、インターネット登録をお願いします。

詳細は直接演者の方にご連絡いたします。

XI. ランチョンセミナーならびにモーニングセミナー

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

XII. 宿泊のご案内

宿泊予約受付の詳細は、後日大会ホームページに掲載いたします。

XIII. 評議員連絡会

日時：平成 27 年 10 月 3 日（土）13：40～14：30 予定

場所：東京ミッドタウン ホール&カンファレンス ホール B 予定

XIV. 日本腎臓学会腎臓専門医の単位取得

本大会に参加されますと、日本腎臓学会腎臓専門医資格更新のための単位が取得できます。手続きの詳細はプログラムに掲載いたします。

XV. 参加費

10,000 円 学部学生及び初期研修医（2 年目まで）の方は無料といたします。学部学生は学生証を呈示してください。初期研修医は、上司の捺印のある証明書をご持参ください。

XVI. 託児室

託児室のご案内は、後日大会ホームページに掲載いたします。

XVII. 学会に関するお問い合わせ

第 45 回日本腎臓学会東部学術大会事務局

吉田 理（慶應義塾大学医学部血液浄化・透析センター）

第 45 回日本腎臓学会東部学術大会運営事務局

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館 6 階

株式会社 コングレ

TEL：03-5216-5318

FAX：03-5216-5552

E-mail：jsntobu45@congre.co.jp

URL：http://www.congre.co.jp/jsntobu45/

第 45 回日本腎臓学会西部学術大会のお知らせ(第 1 回)

会 期：平成27年10月23日(金), 24日(土)
会 場：金沢歌劇座・金沢21世紀美術館・石川県政記念しいのき迎賓館
大 会 長：横山 仁 (金沢医科大学医学部腎臓内科学)

テーマ：臨床腎臓学の進歩：日本からの発信

主要プログラム

※演題名は変更になる可能性があります。

大会長講演 予定

招請講演 予定

シンポジウム 1 題を予定

ワークショップ 3 題を予定

教育セミナー 「よくわかるシリーズ」15 テーマを予定

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

市民公開講座

10月24日(土)午後、第6会場にて予定しております。

学生・研修医のための教育セミナー

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

男女共同参画委員会企画

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

一般演題

腎臓学に関する演題を広く募集いたします。

1. 発表形式

口演またはポスターの発表を予定しております。

2. 申し込み要領

すべてインターネット登録をお願いします。

演題登録期間：平成27年4月8日(水)～5月7日(木)

一般演題以外のプログラムの抄録

一般演題以外の演題抄録も、インターネット登録をお願いします。詳細は直接演者の方にご連絡いたします。

ランチョンセミナー

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

宿泊のご案内

学術大会ホームページをご覧ください。

評議員連絡会

詳細については次回お知らせでご案内いたします。

日本腎臓学会腎臓専門医の単位取得

本大会に参加されますと、日本腎臓学会腎臓専門医資格更新のための単位が取得できます。手続きの詳細はプログラムに掲載いたします。

参加費

10,000 円

学部学生及び初期研修医(2年目まで)の方は無料といたします。学部学生は学生証を呈示してください。初期研修医は、上司の捺印のある証明書をご持参ください。

託児室

託児室のご案内は、後日大会ホームページに掲載いたします。

懇親会のお知らせ

日 時：平成 27 年 10 月 23 日(金) 19:30～(予定)

会 場：石川県政記念しいのき迎賓館

参加費：2,500 円

学会に関するお問い合わせ

第45回日本腎臓学会西部学術大会 事務局

山谷秀喜 (金沢医科大学医学部腎臓内科学)

E-MAIL：jsn45@kanazawa-med.ac.jp

第45回日本腎臓学会西部学術大会 運営事務局

(株)日本旅行 西日本 MICE 営業部

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4大阪駅前第4ビル5階

TEL：06-6342-0212 FAX：06-6342-0214 E-MAIL：jsnseibu_45@nta.co.jp

第45回日本腎臓学会 東部学術大会・西部学術大会

一般演題申込み要領

すべてインターネット登録をお願いいたします。これは大学医療情報ネットワーク（UMIN）が行っているオンライン学会演題申込システムのサービスを利用したもので、学術大会終了後も検索付きで永続的に抄録集の閲覧ができます。

1. 演題の種類

- 東部：症例報告・臨床研究の演題を広く募集いたします。
- 西部：腎臓学に関する演題を広く募集いたします。

2. 登録方法

詳細は日本腎臓学会ホームページ（<http://www.jsn.or.jp>）より各大会一般演題登録ページをご覧ください。

3. 会員番号

登録の際は“日本腎臓学会会員番号の入力”が必要です。上記のホームページから検索できます。未入会の方は事前に入会手続きをお願いします。入会申請書は、E-mail（saito@jsn.or.jp）またはFAX（03-5802-5570）で（一社）日本腎臓学会へ住所・氏名及び「入会希望」と明記の上ご請求下さい。

4. 登録期間

東部・西部とも平成27年4月8日～5月7日まで

5. 文字数

演題名（全角50文字、英文はスペースを含む半角150文字を上限とする）・演者名・所属機関・本文すべて含め、全角600文字以内。（英文はスペース含む半角1,800文字）

6. パスワード・演題登録番号

半角英数文字6～8字で、登録者任意の”パスワード”をお決め下さい。
このパスワードと登録順に与えられる”演題登録番号”により、登録後も締切まで変更が可能です。
なお、これらのお問合せにはセキュリティの関係からお答えできませんので、必ずお控え下さい。

7. 一般演題分類表（東部西部共通）

【臨床腎臓病学】

- 101 一次性糸球体疾患
- 102 二次性糸球体疾患
- 103 ネフローゼ症候群
- 104 糖尿病
- 105 尿細管・間質疾患
- 106 遺伝性疾患
- 107 泌尿器疾患
- 108 水電解質・酸塩基平衡
- 201 急性腎不全
- 202 慢性腎不全
- 203 血液透析
- 204 腹膜透析
- 205 血漿交換・吸着・その他
- 206 腎移植
- 207 臨床疫学
- 208 検診・地域医療
- 209 その他

【腎血行動態・高血圧】

- 301 高血圧・基礎
- 302 高血圧・臨床
- 303 腎血行動態
- 304 血管作動性物質
- 305 その他

【骨代謝】

- 401 骨疾患
- 402 Ca/P/Mg
- 403 PTH/ビタミンD
- 404 その他

8. 採否通知

演題登録の際に入力された各電子メールアドレス（携帯メール不可）へ通知します。

また、日本腎臓学会ホームページで、採用された演題抄録を公開します。

平成27年7月中旬頃

第9回診断病理サマーフェスト 病理と臨床の対話 開催のお知らせ

例年開講しております腎病理夏の学校は、本年は日本病理学会とのジョイントセミナー（病理診断サマーフェスト）として下記の通り開催いたします。

テーマ：腎生検—患者のためになる病理診断のあり方—

会 期：2015年（平成27年）9月5日（土）13：00～18：30（予定）

6日（日） 8：30～13：00（予定）

会 場：京都テルサ（京都府京都市南区東九条下殿田町70）

対象者：腎生検病理に興味のある臨床医・病理医

形 式：腎生検病理診断に関する講義解説と、バーチャルスライドを用いた診断と鑑別（実習なし）

※プログラムの詳細は、

日本病理学会（<http://pathology.or.jp/>）、

日本腎病理協会ホームページ（<http://plaza.umin.ac.jp/~arps/>）

に掲載（5月中頃を予定）。

定 員：220名（定員に達し次第締め切ります）

参加費：20,000円（研修医15,000円）

参加申し込み：日本病理学会事務局（平成27年5月中旬より受付）

※日本病理学会ホームページにて受付方法確認のうえお申し込み下さい。

※交通宿泊の手配は各自でお願い致します。

主 催：日本病理学会・日本腎臓学会・日本腎病理協会

平成27年度「日本腎臓学会奨学プログラム」

—企画書—

I. 日本腎臓学会奨学プログラムについて

(1) 本奨学プログラムの目的

日本腎臓学会奨学プログラムは、日本の若手腎臓医を対象とした研究助成のプログラムです。本プログラムは、末期腎不全治療のなかでも「腹膜透析治療に関する臨床・基礎研究」を助成し、日本における末期腎不全治療の発展に寄与することを目的とするものです。

(2) 助成対象

- ・一般社団法人日本腎臓学会の正会員であること
- ・腹膜透析治療に関わる40歳以下の医師であること
- ・下記学会に採択され、腹膜透析治療に関する臨床・基礎研究の実態が証明できること
- ・一演題一応募に限り、筆頭者であること

平成27年度対象学会：米国腎臓学会（American Society of Nephrology）

(3) 助成金額

一研究につき30万円の研究助成金を授与します。なお、平成27年度の助成者数は若干名とします。また、同一助成者が連続して助成を受けることはできません。

(4) 助成者の選考方法および選考結果の通知

本奨学プログラムは日本腎臓学会誌などで募集を行い、日本腎臓学会会員からの応募申請に基づき選考委員が助成者を決定します。

選考結果は日本腎臓学会より本人に連絡するとともに、日本腎臓学会誌などに掲載いたします。

II. 応募書類作成要領

- ・下記の要領に従って別紙「応募申込書」を作成し、日本腎臓学会事務局まで郵送してください。メールでは受け付けられません。
- ・提出書類に著しい不備があると、選考委員会の審査を受けられないことがありますのでご注意ください。
- ・用紙サイズはA4判で、選考委員にわかりやすいように、項目番号と項目名を記入してください。
 1. 氏名、所属機関、資格、連絡先住所、電話、FAX、メールアドレス
 2. 応募者の署名
 3. 所属長の署名
 4. 学会発表演題抄録
 5. 学会による採択を証明する書類

【応募先】

一般社団法人日本腎臓学会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-28-8 日内会館6F

【締切】

平成27年9月末日までの消印有効